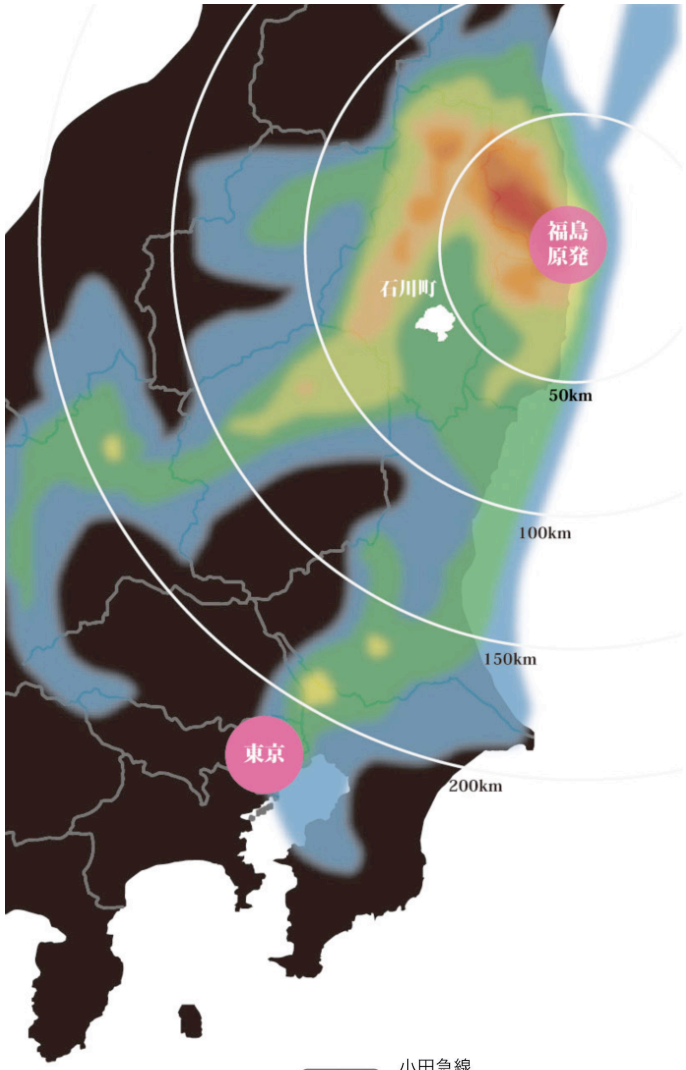

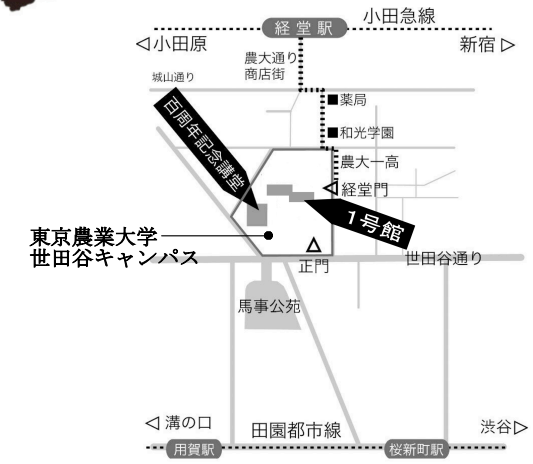

第9回学生デザインワークショップ
サマースタジオ2013

公益社団法人日本造園学会関東支部主催・同東北支部協力・石川町共催
後援：NPO法人ふくしま風景塾

『原発の被害を受けた土地と向き合う・2』

成　果　発　表　会

開催場所：東京農業大学世田谷キャンパス　百周年記念講堂
時　間：13：10〜15：10　一般公開（無料）

司会進行：霜田亮祐（HUMUS landscape architecture Inc.・関東支部運営委員）
挨拶：田口和憲（石川町教育長）

チームA：「中心市街地活性化〜景を結ぶ」
チームB：「温泉と桜〜むすびのまち石川町」
チームC：「御斉所街道の海と山のつながり〜おもてなし街道」
チームD：「中谷第二小学校の活用計画」
チームE：「ランドスケープと産業〜TRINITY EARTH」

参加学生　約30名・5チーム
東北：福島大学、宮城大学
関東：東京農業大学、千葉大学、一橋大学、慶應義塾大学、明治大学、多摩美術大学、日本大学（生物資源科学部、理工学部）
関西：奈良女子大学
石川町地元より：石川中学校、県立石川高校

2012年以来福島県石川町で開催している学生デザインワークショップの成果報告会です。昨年のテーマは原発風評被害の克服、2013年はさらに森と海との交流（福島の横軸）を重点テーマとしています。内陸の石川町と津波の被害を受けたいわき市久ノ浜地区などの交流を視野に入れながら、地域の将来像を提案いたします。